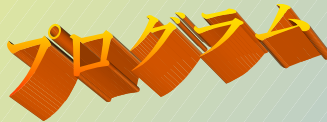


愛知工業大学同窓会関東支部

2003年春の例会「第4回技術交流セレクション」「春の宴」

春たけなわのこの時期、日曜日也不例外この愛工大関東支部の本会に参席いただいたこと、誠に感謝する次第です。幹事一同心より感謝申し上げます。今日はフランクな雰囲気な大事にしながら、少しタメになるお話を聞き、楽しさを加味し、旧交をあたためることを主旨としてまとめていきたいと思ひます。皆様の協力に感謝します。 支部長



日時 2003年4月20日(日) 13:00 ~ 17:40
場所 品川区立総合会館「きゅりあん」7Fイベントホール

【 第1部 】

1:00 ~	開会宣言	総合司会：江藤 馨(45R)
1:00 ~ 1:05	支部長あいさつ	高原光立(43M)
1:05 ~ 1:10	愛工大来賓ご挨拶	
1:15 ~ 2:05	杉野 丞 教授(52年建築学科卒)	
	講演「日本建築の源流を求めて」	
	10分間 質疑応答	
2:15 ~ 3:05	久保 統義 氏(62年経営工学科卒)	
	講演「1億3千万人総インターネット時代のセキュリティについて」	
	10分間 質疑応答	
3:15 ~ 3:30	休憩 (会場整理)	

【 第2部 】

3:30 ~	春の宴・親睦パーティ開会
3:30 ~ 3:35	細江事務局長あいさつ
3:35 ~ 3:40	愛工大担当先生あいさつ
3:40 ~ 3:50	「乾杯」発声 岩田和彦顧問(41K)
3:50 ~ 5:20	歓談・食事・交流
	*スピーチ 各学部代表より
	*タイミングを見てお楽しみ当たりクジ発表!
5:30 ~	中締め
5:40 ~	閉会宣言



愛知工業大学同窓会関東支部

2003年春の例会「第4回技術交流セレクション」講師紹介・概要案内

『日本建築の源流を求めて』 中国華南地方の建築についてー

杉野 丞(すぎの のぼる)愛知工業大学建築学科教授

概要：日本の寺院建築は、中国 唐・宋・明の3つの時代に伝来した建築様式を基礎として、各時代の伝統と融合することによって、日本固有の建築文化を築いてきたとされる。法隆寺他奈良時代のものは、唐代の建築を色濃く反映しているが、鎌倉時代におこなわれた東大寺の再建では、新たに宋代の建築様式が採用された。しかしその源流が明らかでない。今回、日本建築の源流を求め、中国華南地方の建築実像を探ってみたい。

講師紹介：杉野 丞(すぎの のぼる)愛知工業大学建築学科教授

昭和52年	愛知工業大学建築学科卒業
昭和54年	同修士課程終了
平成2年	中国東南大学建築研究所客員研究員
平成7年	名古屋大学・博士号取得
平成8年	愛知工業大学 助教授就任
平成14年	愛知工業大学 教授就任

活動成果：	昭和59年	文化庁建造物委嘱調査委員
	平成2年	国立歴史民族博物館委嘱調査委員
	平成4年	奈良国立文化財研究所委嘱調査委員
	平成4年	三重県史編纂委員
	平成6年	愛知県史執筆調査委員
	平成13年	愛知県文化財審議委員

表彰：平成5年 日本建築学会東海賞 獲得
「近世の禅宗寺院本堂に関する研究」論文発表により

著書多数：	「国宝・高岡山瑞龍寺」	文化庁監修	1999年
	「総覧・日本の建築」	日本建築学会	1986年
	「静岡県の近世社寺建築」	静岡教育委員会	昭和54年
	「愛知県の近世社寺建築」	愛知教育委員会	昭和55年
	「三重県の近世社寺建築」	三重教育委員会	昭和60年



愛知工業大学同窓会関東支部

2003年春の例会「第4回技術交流セレクション」講師紹介・概要案内

『1億3千万人総インターネット時代のセキュリティ』

講師：久保統義（くぼ のりよし） 62K卒

概要：「日本国が5年以内に、世界最先端のIT国家になる」と、2001年1月 e-Japan 戦略が掲げられた。以来IT戦略本部を中心として官民の総力を上げた取り組みにより、

2001年3月 e-Japan 重点計画策定

2001年6月 e-Japan 2002プログラム

2001年11月 e-Japan 重点計画

e-Japan 2002プログラム加速前倒

等の施策を定めた各種計画を策定するとともに、着実な実行が行われました。その結果、インターネット人口普及率は、1999年の21.4%から2001年に44%と大幅に増加した。2005年に向けて、e-Japan 戦略はどんなになっていくか、その際には各家庭はどのような姿になって行くかを説明し、日本におけるIT促進の方向性について理解して頂く。

方や、技術分野に着目すると、IPV6の時代がすぐそこまでせまり来ている。聞きなれないIPV6が、世の中をどのように変えていくか、家庭を、家電をどう変えていくのか、それにより皆さんのライフスタイルがどう変わっていくのかを説明し、ITが身近な存在になりつつあることを理解いただく。最後にIT革命によって身近になったITは、すべてが安心なものでなく、家にカギを掛けたり、監視カメラの設置、警備会社に依頼すると同じように、ITのホームセキュリティも必要であることも重ねて説明する。

講師紹介：久保統義（くぼ のりよし）（62年経営工学科卒）

トレンドマイクロ株式会社 インテグレートッド本部 副本部長

久保氏には本会において2回目の講演を依頼しました。前回2000年3月の第1回技術交流セレクションでは、以下の標題で価値ある発表をされました。「インターネットの落とし穴/コンピューターウィルスの現状と対策」ウィルスバスターで有名なトレンドマイクロ社において、重責を担いつつ、実績、経験豊富な内容を披瀝願います。我々の生活に、仕事にどんどんITが具現化されてきています。そんな中で最新鋭の技術を駆使して、世界に活躍をしている企業そして久保氏の実績の一端を感じ取りましょう。

